

海外共同研究の扉を開く

研究のフロンティアを海外へ広げませんか？第9回研究井戸端トークでは、海外共同研究の実践者たちが、研究の可能性を広げた体験や、協力関係の築き方、実務のコツまで、率直に語ります。国際的なネットワークづくりのチャンスや研究の新たな展開を見出すヒントが得られる90分。あなたの次のステップが、ここから始まるかもしれません。

司会

内藤 真理子 教授
副学長(国際研究担当)
社会系歯学

疫学を専門とする歯科医師として、社会歯学教育ならびに予防歯科診療に従事。口腔の健康と全身の健康の関連を中心に研究を進めています。

話題提供

保坂 哲朗 教授
生態学

熱帯雨林から都市まで様々な生態系における昆虫の多様性や役割について研究を行っています。また、生態系保全の観点から、自然ツーリズムや子どもの自然遊び、野生動物との軋轢など、人間と自然の相互作用に関しても研究を行っています。

話題提供

上手 由香 准教授
臨床心理学

臨床心理士・公認心理師としてカウンセリングを行う傍ら、トラウマに関する国際比較研究や、戦争によるトラウマの次世代への心理的影響について研究しています。傷つきを乗り越え、回復する力に関心を持っています。

話題提供

前田 慶明 准教授

スポーツリハビリテーション学
スポーツ傷害の予防やパラスポーツなど、スポーツ理学療法の実践や社会福祉の貢献につながる研究を行っています。ドイツや香港との国際共同研究を進めています。

開催日時▶ 2025年1月30日(木) 16:30~18:00

内容▶ 簡単な話題提供 + 参加者も含む自由な対話

対象▶ 学内外の研究者・大学院生、企業・一般の方など誰でも！

開催形式▶ 現地(20名限定、1ドリンク付き、イベント終了後に交流会開催) & オンラインハイブリッド開催
(現地会場: 広島大学きてみんさいラボ、交流会会場 & 会費: 決定次第お知らせします。)

事前登録▶ <https://x.gd/RLiFE> またはQRコードから

